

総務文教常任委員会

平成28年12月16日（金）午前10時～
第3委員会室

1 開議

2 事務局日程説明

3 議案審査

議会事務局

- (1) 第1号議案 平成28年度亀岡市一般会計補正予算（第3号）
＜説明～質疑＞

市長公室

- (1) 第1号議案 平成28年度亀岡市一般会計補正予算（第3号）
＜説明～質疑＞
- (2) 第9号議案 特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- (3) 第10号議案 亀岡市一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
＜説明～質疑＞
- (4) 第11号議案 職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
＜説明～質疑＞
- (5) 第34号議案 亀岡市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- (6) 第35号議案 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
＜説明～質疑＞

企画管理部

- (1) 第1号議案 平成28年度亀岡市一般会計補正予算（第3号）
＜説明～質疑＞

生涯学習部

- (1) 第1号議案 平成28年度亀岡市一般会計補正予算（第3号）
(2) 第21号議案 ガレリアかめおかに係る指定管理者の指定について
＜説明～質疑＞

総務部

- (1) 第1号議案 平成28年度亀岡市一般会計補正予算（第3号）
＜説明～質疑＞
(2) 第12号議案 亀岡市税条例の一部を改正する条例の制定について
＜説明～質疑＞
(3) 第22号議案 亀岡市葎田野生涯学習センターに係る指定管理者の指定について
(4) 第23号議案 亀岡市大井生涯学習センターに係る指定管理者の指定について
(5) 第24号議案 亀岡市西別院生涯学習センターに係る指定管理者の指定について
(6) 第25号議案 亀岡市河原林生涯学習センターに係る指定管理者の指定について
＜説明～質疑＞
(7) 第31号議案 京都地方税機構規約の変更について
＜説明～質疑＞

教育部

- (1) 第1号議案 平成28年度亀岡市一般会計補正予算（第3号）
＜説明～質疑＞

- (2) 第13号議案 亀岡市立義務教育学校設置条例の制定について
- (3) 第14号議案 学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
＜説明～質疑＞

4 討論～採決

5 請願審査

- (1) 受理番号4 亀岡市私立幼稚園就園奨励費補助金の国基準維持を求める請願
＜請願者意見陳述～討論・採決＞
- (2) 受理番号5 中途失聴者・難聴者に対する公職選挙のバリアフリー実現を求める意見書の提出に関する請願
＜討論・採決＞

6 陳情・要望について

- (1) 第六見晴自治区への校区変更案反対に対する要望
＜要望者意見陳述＞

7 その他

- ・議会だよりの掲載事項について
- ・わがまちトークの対応について
- ・次回の月例開催について

中途失聴者・難聴者に対する公職選挙のバリアフリー実現を求める意見書（案）

近年、高齢化社会の進行に伴い老人性難聴者が増加している状況にあります。70歳以上の約5割以上が難聴者だとも言われており、従来の中途失聴者・難聴者の方を含めると、全国で約600万人の難聴者がおられると言われています。

こうした中途失聴者・難聴者にとって、現在の公職選挙法並びに関係法令では、政見放送での字幕の挿入や個人演説会での手話と要約筆記が保障されていないのが現状です。

2014年1月に批准された「障害者の権利に関する条約」の第2条においても、「意思疎通」とは、言語、文字の表示、点字、触覚を使った意思疎通、拡大文字、利用しやすいマルチメディア並びに筆記、音声、平易な言葉、朗読その他の補助的及び代替的な意思疎通の形態、手段と定義されており、公職選挙におけるバリアフリー化の対応が求められます。

こうした観点から、公職選挙においても、手話と要約筆記は同等に扱うべきであると同時に、個人演説会における手話や要約筆記も選挙活動と解すべきでなく、あくまで「情報の保障」「聞こえの保障」であると考えべきであります。併せて、手話通訳者や要約筆記者の活躍の場を増やし、従事者を増やすことが、聴覚障害者の社会参加の広がりにもつながります。

よって国におかれては、下記の事項を実施できるよう、公職選挙法並びに関係法令を速やかに改正されることを要望します。

記

1. 政見放送における手話通訳と同時に字幕を挿入すること
2. 個人演説会において手話や要約筆記が利用しやすい環境を整えること

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

平成28年12月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

総務大臣

厚生労働大臣 宛

亀岡市議会議長 西口 純生

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H28. 10. 27 PM8:00~9:28)

会場(千歳町自治会館)

テーマ(①災害からの安全安心、②少子高齢化の中で住みやすいまちづくり)

総務文教常任委員会

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	昆沙門区には3つの谷に関わって危ない箇所があるということで、要望を出している。先般、市長、議長には見ていただいた。雨が降ったら現場を見て回っているが、災害が起こる時は普通の雨ではない。いつ災害が起こるかわからないので要望しているが考慮してもらえない。なかなかできないと思うが見ていただきたい。	3つの川の対策が非常に遅れているという指摘であったと思う。	総務文教産業建設	○		
2	出雲区に堤防ができるが、二つの山が一緒になっている出雲台区には小さなダムしかなく、逃げる場所もないので見ていただきたい。		総務文教産業建設	○		
3	今年度、小口区の南側に堰堤を造っていた。しかし、あと2つの谷がある。以前から要望を出しているが、なかなか聞いてもらえない。予算の面や他にも危険箇所があるのは承知しているが、少しずつでも手を付けていただけたらと思う。		総務文教産業建設	○		
4	中谷川上流に砂防堰堤がある。大雨が降るとかなりの土砂が溜まる。府民公募型事業で毎回要望を出している。現状では問題ないという回答であった。土砂だけでも浚渫していただきたい。砂防堰堤は、本来、浚渫するものではなく、いつぱいになったら次のものを造るということになっているそうだが、その考え方が本当によいのかどうか。新しいものを造るとなると予算がかかる。浚渫をすれば、予算は抑えられると思う。	中谷川の堰堤を市長に見てもらい、その後、どう対応をされたのか確認した。一町1件ということが行政側(府、市)にあるようで、引き続き水路の整備も進めるよう要望したところ、一つひとつ解決できるような体制づくりをしていくとの回答を得ている。	総務文教産業建設	○		
5	果たして、小口区の避難場所はどこが安全かという、どこも安全とは思えない。自治会、さくら体育館までは遠い。そこまで避難するのは現実的ではない。状況に応じた避難の仕方をアドバイスいただきたい。	避難場所は、地域によって違う。逃げたところが危ないということでは絶対ダメなので、一番近くで安全な場所は、自治会の方でもお示しいただく中で、どうしたらよいかということは行政の立会いのもと、地域毎の安全な避難場所、避難経路を考えるのがよい。手助けできることがあれば、議会から執行部の方に申し伝えたいと思う。山裾に位置するこの地域の特性を理解し、災害に対する予算が提案された時は速やかに賢明な判断をしていきたい。緊急避難場所、避難施設等について、京都府を含めて見直し作業が始まっていると思うので、自治会の方でもいざという場合に直ちに行く場所と、長期間滞在を視野に入れなければならない場所を考えていかなければならないと思う。	総務文教	○		
6	中区では、ワークショップを何回も実施して、シミュレーションを行った。皆が意見を出し合って、安心安全マップを作成した。。それぞれの区で、このようなものを作っていくかなければならないと思っている。集合場所として示されているものが、危ないのではないか。避難勧告が出た時に、どこへ行けばよいのかということが、今日の心配点である。避難場所のことは予算に関係なくできるということで、頑張らなければならないと思っているが、このようなものを作っていくとなると、サポーターが必要。専門的な知識のある方などにきていただいたら進みやすい。		総務文教	○		

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H28. 10. 27 PM8:00~9:28)

会場(千歳町自治会館)

テーマ(①災害からの安全安心、②少子高齢化の中で住みやすいまちづくり)

総務文教常任委員会

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	回答調査
7	江島里区も山は低い谷がある。すぐに水が漬くので心配。治山ダムを要望を出しているが予算が通らないので、よろしく願いたい。	いただいた意見は持ち帰って、各委員会で議論をして執行部に申し伝える。	総務文教 産業建設	○		
8	そこに住んでいる住民の危機意識と行政の安全基準に相当のズレがあると思っている。住民は、治山、砂防のことを言われても仕組みがわからない。住民は年一回の要望のときしか声を出せない。対象事業ではないと言われたら、先に繋がらない。亀岡市、土木事務所、振興局など行政間の連携をとってほしい。例えば、千歳町から出している要望は、それぞれの機関が合同で危険箇所を年一回は見回りをして、どうなっているのか状況確認していただくようなことができないか。		総務文教	○		
9	一町1件ということが適切なことなのか。一町で5、6件でも必要だということがわかってもらえれば。亀岡市、京都府、地元が継続して危険箇所のパトロールをしていただくようなことが出来たらと思う。(産廃では機動班が出ているが、それが防災に生かせないかという提案だった)		総務文教	○		
10	若い世代が折に触れて地域に帰ってくるような楽しみがあればと思う。例えば、集落毎の祭りや行事も行き来できるようになればよいし、実施するための補助金等も考えてほしい。		総務文教	○		
11	先程、議員から小中一貫校が出来たので、川東地域以外の他地域から川東学園に子どもを呼び込めないかという質問があった。それについては、一つの目標ではあったが実例はない。		総務文教	○		
12	防犯灯の関係で、街路灯LED化のための市の補助金に制限があるため、数を絞って申請しなければならぬということで悩んでいる。省エネ対策としての街路灯整備ということもあるが、この地域は街路灯が命の灯になると思う。安全で住みやすいまちづくりのために必要な問題であるという視点から捉え直してほしい。高齢者や通学する子ども達の交通事故防止対策として、必要なことである。	知事が、安全面については予算が無いから対応しないということはないと言っていたが、一町1件とかではなく、本当に必要なことをなぜできないのかと思う。色々な課題はあると思うが、地域が優先順位を決めて、自由に使える一括交付金ということを考えてほしいのでは。	総務文教 産業建設	○		
13	各地域の自主性に任せて使える交付金について、甲賀市を視察した。確かに、事務能力の問題もあり、一律に言うことは難しいが、高齢者対策のための交付金とか、目的を絞った形でしてもらえたら、地域で活用しやすいと思う。裁量を認めてやらせていただけるなど、そういう形の交付金はありがたい。	公募型で採用してもらって、それに対する交付金を出してもらうような形については、あちこちから声もいただいているので、こういう機会にいただいた意見として議会に持ち帰り、市に提言していきたい。知恵を出し合ってまちづくりをしていくという提案をいただいたと思う。	総務文教	○		

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H28.10.29 13:30~15:10)

会場(ほんめ町ふれあいセンター)

テーマ(①当町における今後のまちづくりについて、②高齢者福祉対策について)

総務文教常任委員会

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	回調査
1	国道477号から平松地域、グリーンタウンへ行く市道について、ふるさとバスが通り通学路にもなっているが、国道から市道に出入りする車との離合が出来ない。通学時に万が一事故が起こると大変な事になるので、対応をお願いしたい。	市道平松中野道線の問題は平成28年3月定例会で強く申し入れをした。今後も強く申し入れしていきたい。	総務文教 産業建設	○		
2	婚活の取り組みについてどう考えるか。	桂川市長も府議会議員時代に婚活の質問をされていたこともあり、市としても後押しという形で動いてみるということであった。市長公室でアイデア等を募集したりするなどして取り組んでいる。	総務文教	○		
3	西部地域の緊急(消防・救急)体制の確立についてどう考えるか。	東本梅保育所の移転後の利活用について、具体的ではないが市長から消防あるいは救急の拠点にできればという話があった。	総務文教	○		